

大学職員のための

「大学変革力」

育成講座

2016

大学職員のための「大学変革力」育成講座 プログラム概要

1. 目的：

この講座は、大学において世代・職階ともに「中堅」に位置づく係長等の職員が、変化の激しい多様な時代的ニーズを踏まえつつ、各大学の強みを活かした新たなイノベーションを創出できる「大学変革力」を獲得・育成することを目的としています。

2. 達成目標：

参加者は次のことができるようになることを目指します。

- ◇ 他大学との比較を通して、自大学の強みと弱みを分析することができる
- ◇ 課題の背景・文脈を整理するとともに、改革案を構造化して示すことができる
- ◇ 改革案を実現するための効果的なアプローチを構想することができる
- ◇ 自分の考えを言語化し、他者にわかりやすく伝えることができる
- ◇ 他の参加者との協働を通して、チームの目標を達成することができる

3. 活動内容：

この講座では、大学ごとにチームを編成し、各大学が置かれている状況を分析し、そこから導かれた課題の改善・改革のための実行案を企画し、提案していただきます。

4. プログラム：

スキルを学びつつ、段階的に思考を発展できるように構成しています。ワークショップⅣ（10月15日）から企画提案会議（12月3日）の間は、改革案をブラッシュアップする期間となります。この間、チームごとにスタッフとのコンサルテーションを実施します。

この講座は全て、東北大学川内北キャンパス 川北合同研究棟 1階 101 CAHE ラウンジにて行います。

①事前レポート ～大学におけるリーダーシップ～

2016年8月5日（金）締切

PDPonline (<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/PDPonline/>) の「**国立大学のガバナンスとリーダーシップ**（講師：吉武博通 筑波大学教授）」または「**私立大学のガバナンスの課題と展望 一地方中・小私学の可能性を考える**（講師：合田隆史 尚絅学院大学長）」のいずれかを視聴し、次の問いについてあなたの考えをまとめてください。

問い：あなたが置かれた立場を踏まえ、組織においてあなたが発揮できる「リーダーシップ」とは何ですか。レポートへは、スタッフよりコメントをお返しし、これからの活動に繋がるよう支援いたします。

文字：10.5ポイント、MS明朝

形式：Microsoft Wordにて、A4、横書き

分量：A4 x 1枚以内（500～1000字程度）

提出先：大学教育支援センター（SDP） sdp_office@ihe.tohoku.ac.jp

②オリエンテーション ～大学変革力とは～

2016年8月20日(土)

13:00-17:30(予定)

プログラム参加者との顔合わせとして、参加者の自己紹介をします。その際、自分の大学の魅力を伝え、プレゼンテーションのスキルを磨いていきましょう。プログラムの説明やレクチャーの後、参加者全員で、これからの大学に必要な大学職員のあり方・行動についてディスカッションをします。

グループワークでは、大学ごとのチームに分かれて、自分たちの大学で改善が求められていることは何なのかをテーマに、ブレインストーミングを行います。

当日の活動(予定)

- ・参加者の自己紹介
- ・プログラムの説明
- ・レクチャー「なぜ『変革力』が必要なのかー日本の高等教育における現状と大学職員の学び(仮)」杉本和弘(東北大学高度教養教育・学生支援機構 教授)
- ・ディスカッション
- ・グループワーク(ブレインストーミング)
- ・振り返りとまとめ

情報交換会 18:30～(会費:4000円)

事前課題 自分が所属する大学はどのような大学ですか?自己紹介では、大学の魅力を3分間でわかりやすく伝えていただきます。アピールする対象を自分で設定し、大学概要、広報誌、公表されている教育情報等を参考にしてください。

対象の例:高校生、保護者、在学生、他大学教職員、留学生、一般市民、海外(アジア、欧米圏)など。

③ワークショップI ～SWOT分析をやってみよう～

2016年8月27日(土)

13:00-17:30(予定)

チームのテーマについて、自分の大学が置かれている状況を理解するため、SWOT分析をしてみましょう。析出された課題から、取り組むべき改善の方向性を考えます。課題の改善には、どのような目標設定が有効か、目標を達成するための手法は何か、仮説を立てながら考えを発展させていきます。

当日の活動(予定)

- ・SWOTクロス分析について(説明)
- ・グループワーク
- ・全体ディスカッション

事前課題 自分の大学について、より理解できるように、HP等で公開されている様々な資料を見つけ、持参してください。

④ワークショップⅡ ～他大学と比較してみよう～

2016年9月3日(土)
13:00-17:30(予定)

他大学はどのような改革を進め、いかに成果を挙げているのでしょうか。ワークショップⅡでは、事前課題にある他大学資料を参考に、ワークショップⅠで立てた仮説の有効性について比較的な視点から考えます。さらに、他の参加者とのディスカッションを通して、改革案として発展させていきます。

当日の活動(予定)

- ・グループワーク
- ・全体ディスカッション

事前課題 取り組む課題に関連した、他大学の事例を3つ以上読み、ワークシートに整理すること。

参考資料:

- カレッジマネジメント
http://souken.shingakunet.com/college_m/よりPDFをダウンロード可
- ベネッセ教育総合研究所『Between』及び『VIEW21』大学版
<http://shinken-ad.co.jp/between/>よりPDFをダウンロード可
- 大学の特色に応じた教学マネジメントー2013年度訪問調査の記録
http://www.shidaikyo.or.jp/riihe/result/pdf/2014_p04.pdf
- 篠田道夫・教育学術新聞編集部(2014)『大学マネジメント改革 改革の現場—ミドルのリーダーシップ』ぎょうせい(書籍) ISBN 978-4324097991

⑤ワークショップⅢ ～アクションプランをたてよう～

2016年10月1日(土)
13:00-17:30(予定)

改革案を実行に移していくためには、「誰に」「どのように」アプローチすることが必要でしょうか。改革を実現していくためにはどのような工程が必要なのかを考え、実効性あるアクションプランを作成します。

当日の活動(予定)

- ・グループワーク
- ・全体ディスカッション
- ・プレゼンテーションについて(説明)

事前課題 なし

⑥ワークショップⅣ ～プレゼンテーションスキルを磨こう～ 2016年10月15日(土)
13:00-17:30(予定)

各チームの改革案(初案)をプレゼンテーションしていただきます。アドバイザー(東北学院 伊藤氏, 尚絅学院大学 伊丹氏)を交え, 改革案の有効性や実現可能性について全体でディスカッションします。また, チームごとにアドバイザーからコンサルテーションをしていただき, 得られた意見や指摘を踏まえて, 改革案をより有効な案へと発展させます。

当日の活動 (予定)

- ・プレゼンテーション
- ・全体ディスカッション
- ・アドバイザーとのコンサルテーション
- ・グループワーク

情報交換会 18:30～(会費:4000円)

事前課題 改革案を, A4 x 1枚の企画書にまとめ, 10月7日(金)までに提出してください。企画書では下記項目を含めて作成してください。

- 改革案タイトル(提案内容が伝わる明確で魅力的な名称を考えてください)
- 背景・現状(自大学の状況や他大学と比較して)
- 課題
- 改革点とその目的
- 具体的な提案内容とその利点

この資料は, 事前にアドバイザーに送付します。発表時間は, 各チーム30分(発表15分+質疑応答15分)です。

⑦企画提案会議 ～改革案を提案しよう～

2016年12月3日(土)

13:00-17:30(予定)

アドバイザー(桜美林大学 篠田道夫教授, 京都外国語大学 山崎その氏, 東北大学 齋藤 仁氏)に対して, 改革案の最終プレゼンテーションをしていただきます。案の内容や実現可能性について意見をいただいた後, 全体でディスカッションします。また, 最終課題となるレポート作成について, 書き方やコツをお伝えします。

当日の活動(予定)

- ・プレゼンテーション
- ・全体ディスカッション
- ・アカデミック・ライティングについて(説明)

情報交換会 18:30~(会費:4000円)

事前課題 前回の企画書をブラッシュアップして最終改革案として作成してください。前回同様A4×1枚の企画書にまとめ, 11月25日(金)までに提出してください。

プレゼンテーションは, 企画書を踏まえて, パワーポイント等を使用してもかまいません。企画書と発表資料は, 最終課題レポートと共に, 事前にアドバイザーに送付しますので, 同じく期限までに提出してください。発表は各チーム30分(発表15分+質疑応答15分)です。

提出先: 大学教育支援センター(SDP) sdp_office@ihe.tohoku.ac.jp

⑧最終レポート ～改革案を磨いていこう～

2016年12月22日(木) 締切

本講座の総まとめとして, 最終レポートを作成し提出していただきます。

最終レポートは, 次の3つの観点から構造的にまとめるようにしてください。分量は4,000字程度を目安とし, 必要に応じて図表やグラフを入れても結構です。

- ①本講座での学び: 本講座を通してどのようなことを学んだのか, 自分なりの観点から成果をまとめる
- ②改革案の概要: 各チームで作成した改革案の目標・内容・予想される結果等についてまとめる
- ③今後の取組み: 改革案の実現に向け, 今後個人としてどのような姿勢や行動を心がけていくのか, 抱負をまとめる

アカデミック・ライティング力向上の観点から, レポート作成にあたって, スタッフのサポートを受けることができます。希望される方は, 12月15日(木)までにレポートをお送りください。

文字: 10.5ポイント, MS明朝

形式: Microsoft Wordにて, A4, 横書き

分量: 4,000字程度

提出先: 大学教育支援センター(SDP) sdp_office@ihe.tohoku.ac.jp

5. アドバイザー

本講座では、大学の現場で教育改革・改善を主導してきた、以下の経験豊富なシニア教職員を助言役とするアドバイザー制をとっています。ワークショップⅣおよび企画提案会議では、シニア教職員を含めた場にて企画提案・ディスカッションを行っていただきます。

	氏名	所属・役職
⑥ワークショップⅣ 10月15日(土)	伊藤 寿隆	東北学院人事部長
	伊丹 信祐	尚絅学院大学政策企画室室長補佐
⑧企画提案会議 12月3日(土)	篠田 道夫	桜美林大学大学アドミニストレーション研究科専任教授
	山崎 その	京都外国語大学総合企画室参事
	齋藤 仁	東北大学本部事務機構総務企画部長

6. 参考文献：

各ワークショップの活動はもちろんのこと、これからの大学職員としてのみなさんの学びの参考として、下記文献を紹介します。是非ご活用ください。

また、「東北大学大学教育支援センターによる大学教職員のための推薦図書」(冊子)でも、多くの参考図書を紹介していますので、ぜひご参照ください。

企画書作成・プレゼンテーション
山田壮夫 (2016)『コンセプトのつくり方 たとえば商品開発にも役立つ電通の発想法』朝日新聞出版(書籍), ISBN 978-4023314849
宣伝会議「販促会議」編集部 (2016)『販促会議 SPECIAL EDITION 実際に提案された秘蔵の企画書』宣伝会議(書籍), ISBN 978-4883353620
前田鎌利 (2015)『社内プレゼンの資料作成術』ダイヤモンド社(書籍), ISBN 978-4478061527
磯部光毅 (2016)『手書きの戦略論 「人を動かす」7つのコミュニケーション戦略』宣伝会議(書籍), ISBN 978-4883353545
堀公俊 (2016)『フレームワークの失敗学』PHP ビジネス新書

レポート執筆
井下千似子 (2014) 『思考を鍛えるレポート・論文作成方法』慶應義塾大学出版会, ISBN 978-4766421071
木下是雄 (1981) 『理科系の作文技術』中公新書
組織改革・マネジメント
篠田道夫・教育学術新聞編集部 (2014) 『大学マネジメント改革 改革の現場—ミドルのリーダーシップ』ぎょうせい (書籍) ISBN 978-4324097991
WISDON@早稲田 (2008) 『大学は「プロジェクト」でこんなに変わる』東洋経済新報者 (書籍), ISBN 978-4492532447
中原淳 (2014) 『駆け出しマネージャーの成長論～7つの調整課題を「科学」する』中央公論新社, ISBN 978-4121504937
ロバート・キーガン, リサ・ラスコウ・レイヒー (2013) 『なぜ人と組織は変わらないのか』英治出版 (書籍), ISBN 978-4862761545
デブラ・E・メイヤーソン (2009) 『静かなる改革者—「しなやか」に「したたか」に組織を変える人々』ダイヤモンド社
リーダーシップ
金井壽宏 (2005) 『リーダーシップ入門』日本経済新聞出版社 (書籍), ISBN 978-4532110536
P・F・ドラッカー (2000) 『チェンジ・リーダーの条件—みずから変化をつくりだせ!—』ダイヤモンド社
ジョン・P・コッター (2012) 『第2版 リーダーシップ論』ダイヤモンド社

7. PD セミナー

本講座をより充実した機会とするため、これからの学びにつなげていくため、下記のセミナー等の受講・動画の視聴をお薦めします。PD セミナーは毎年更新されますので、詳細は、PD セミナーについては、「PDP 2016 年度プログラム」パンフレット、もしくは大学教育支援センター HP をご参照ください (<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/>)

PDPonline は、新着セミナーが不定期にアップされますので、詳細は大学教育支援センター HP からアクセスしてください。

PD (Professional Development ; 専門性開発) セミナー

高等教育関係	本当のかしこさとは何かー感性知性と大学教育ー 講師：箱田裕司（京都女子大学教授） 10月14日（金）15：00-17：00 グローバル化する高等教育における国際化戦略・政策・実践 講師：太田浩 一橋大学教授 12月23日（金）10：00-12：00
マネジメント関係	組織のパフォーマンスを向上させるリーダーシップ 講師：藤本雅彦（東北大学教授） 6月30日（木）13：30-17：30 機関戦略と資源配分 講師：水田健輔（大正大学教授） 8月7日（日）10：00-12：00
	大学 IR データの分析・解釈・活用 講師：串本剛（東北大学准教授）・松河秀哉（同講師） データに基づく教育改善へのアプローチ（1） 講師：東北大学教育評価分析センター教員 11月中
学生支援関係	障害学生教育・支援セミナー 11月8日（火）13：00-17：00

PDPonline (PD セミナーを動画配信しています) <http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/PDPonline/>

高等教育関係	歴史からみた大学：中世から現代まで（寺崎昌男） 世界の高等教育（杉本和弘） 大学教育論：教養と専門の二項対立を超えて（小笠原正明）
マネジメント関係	国立大学のガバナンスとリーダーシップ（吉武博通） 私立大学のガバナンスの課題と展望（合田隆史） データを活用した教育改善へのステップ（鳥居朋子・川那部隆司） データに基づく教育改革をどのように進めるか～アセスメントの 5 ステップ（山田剛史）
学生支援関係	大学教育と青年期発達 発達障害学生支援の現状と法が求める合理的配慮（青野透）

8. スタッフ

このプログラムは下記 3 名にて企画・運営されています



杉本 和弘
東北大学高度教養教育・学生支援機構 教授
教育評価分析センター長, 大学教育支援センター



川面 きよ
東北大学高度教養教育・学生支援機構 特任講師
教育評価分析センター



稲田 ゆき乃
東北大学高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター コーディネーター

9. お問い合わせ

東北大学高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター SDP 担当
E-mail: sdp@ihe.tohoku.ac.jp
Tel: 022-795-4471 Fax: 022-795-4749